

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

6/25
(木)



交通安全少年隊 隊旗移譲式

交通安全少年隊に小学生8名、中学生6名の計14名が入隊し、町交通安全協会会長から隊旗を譲り受けました。

土別警察署長から交通安全リーダー証を受け取った隊長の國見鈴音さん(中3)は、「自ら進んで交通ルールを守り、交通安全を呼びかけます。」と誓いの言葉を述べました。

式の最後には、こぐまクラブ(保育所児童)の加清陽斗くん、宮崎結梨ちゃんが一生懸命に交通安全を呼びかけました。

6/11
(木)



うたと踊りの楽しい舞台

和寒小学校で北海学園大学の演劇研究会、音楽系サークル等の学生たちによる地方公演がおこなわれました。

当日は大学生約50名が参加し、前半は児童向けの演劇「びっくり博士の大発明」を上演、後半はバンドで人気アニメの主題歌などを演奏しました。体育館をいっぱいに使ったステージで、児童たちは大学生たちと一緒に歌い、楽しんでいました。

7/4
(土)



人形劇に感動の拍手!

劇団すぎのこによる人形劇「そっくりのくりのき」が図書館で開演され、会場はたくさんの子どもたちで賑わいました。

「そっくりのくりのき」は、アンパンマンでおなじみのやなせたかさんの作品で、受け継がれていく命の美しさ・尊さを描いた心温まるおはなしです。上演後は、主人公のきつねのコンちゃんとくりの木のおじいさんに惜しめない拍手が贈られました。

7/4
(土)



天塩川クリーンアップ大作戦

この取り組みは、毎年、天塩川流域の市町村が一斉に河川敷のごみ拾いや清掃を実施しているもので、本町でも天塩川水系剣淵川の河川敷清掃活動がおこなわれました。

当日はやや肌寒い天候ではありましたが、早朝から和寒中学校の生徒や高齢者スポーツクラブの会員など58名が参加し、桜づつみ堤防のごみを拾い集めました。



7/15
(水)

通学合宿

通学合宿わっさむスクール（第1期）がスタートしました。子どもたちは3泊4日で公民館に合宿しながら、学校に通い集団生活の中で決まりを守る習慣を身につけます。初日はオリエンテーションの中で班長を中心に、この合宿を通して達成したい目標を立てました。班の中での討論や大人たちからの指導を経て、整理整頓、時間やルールを守ることを学びました。



7/4
(土)

田んぼの生き物調査

わっさむドキドキクラブが、水田の周りの生き物を探しに中和へ出かけました。この日は、「北のきらきらキッズプロジェクト」との共催で、上川農業改良普及センター士別支所の服部専門普及指導員に様々な生き物のことを教えてもらい、子どもたちは小さな虫やオタマジャクシ（写真）など、少しの時間で約40種類もの生き物を見つけて大喜びでした。

まち・ひと・しごと創生（人口減少対策）に取り組みます

急速な少子高齢化の進行に対応し、人口減少と東京圏への人口集中に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保していくために、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、まちづくりや人材の確保、多様な就業機会の創出に関する施策を総合的かつ計画的に実施することになりました。

和寒町においても少子高齢化とともに若年人口は減少傾向にあり、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されています。

これらの課題に取り組むため、平成27年度からの5ヶ年を期間とする『和寒町まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定することになりました。

策定にあたり、総合計画審議会委員で構成する「まち・ひと・しごと創生町民会議」でのご意見、町政懇談会や各団体からのご意見を反映するほか、未来のまちづくりのヒントを皆さんと共有するため、次のとおりシンポジウムを開催します。どなたでも参加できますので、多くの町民の皆さんのご参加をお待ちしています。

出席申込み不要
入場無料

まち・ひと・しごと創生シンポジウム

～ 人口減少下における和寒町の未来を探る ～

8月31日（月）午後6時～8時 公民館恵み野ホール

【1 基調講演】

「人口減少下におけるこれからのまちづくり」（40分）

松本 懿(あつし) 氏（酪農学園大学教育センター特任教授）

【2 提言】

テーマ「人口減少・少子高齢社会における魅力あるまちづくりについて」

《進行役》

清水目 剛 氏（上川総合振興局戦略策定支援担当部長）

《コメンテーター》

奥山 盛（和寒町長）

横山 アディナ氏（東欧料理研究家 東川町在住）

松本 懿 氏（酪農学園大学教育センター特任教授）

坂本 眞 氏（北海道銀行地域戦略部長）

井下 佳和 氏（北海道録画センター代表取締役）